2018 年 ７月１日発行

点訳通信

97号

日本ライトハウス情報文化センター
点字製作係
発行責任者　竹下　亘
〒550-0002　大阪市西区江戸堀 1-13-2-8F
TEL 06-6441-1028（点字製作係直通）

先日の大阪北部地震で、当館で活動されているボランティアの方や利用者の方の中にも、ご自宅が被災し、大変な思いをされている方もいらっしゃると思います。その日、当館は休館日で、館内のエレベータが停止したり、パソコンが倒れたりしたものの、大きな被害はありませんでした。いつ、どこで災害に遭うかは分かりませんが、いざという時の対応策は考えておかないといけないと思いました。「まさか」という言葉は災害にはないのだと思います。　（点字製作係　奥野真里）

＊館からのご連絡「警報時のボランティア活動について」

当館では、大阪市内に「暴風警報」か「特別警報」のいずれかが出た場合、以下のようにボランティア活動と館内サービスを休止させていただきます（職員は可能な限り出勤し業務を行います）。もちろん、この規定に当てはまらない場合でも、お住まいの地域や交通経路に警報が出て、ご来館が無理な時はお休みいただいて結構です。どうぞご了承ください。

① 午前７時現在、大阪市内に暴風警報か特別警報が出ている場合 ＝ 午後１時まで休止
② 午前１０時現在、出ている場合 ＝ 全日休止
③ 午後１時以降に、出た場合 ＝ 警報が出た時点で休止
④ その他、館長が危険と判断した場合は休館することがある。

【 休館・開室のお知らせ 】

７月１４日（土）　開室（振替休日ですが点字製作係は開室します）
８月１１日（土）　休館（山の日）
８月１４日（火）～１６日（木）　夏期休館
　　＊１７日（金）から平常どおり開館します。
９月１５日（土）　休室（振替休日のため、お休みします）
　　＊なお、９月２２日（土）は開室します。

■点訳の処理の仕方　イコールとスラッシュの使い方

以下は、昨年行った点訳勉強会で取り上げた内容の一部です。実際は、他にも多くの例があると思いますが、ご参考にしてください。

１．イコール（＝）

イコールは、「…は○○」というように、イコールの前の語句を後の語句が補足したり、意味を補ったりする場合に用いられることがあります。多くの場合、点訳では、棒線「②⑤」「②⑤」に置き換えますが、中には他の記号に置き換えたり、省略したりする場合もあります。

＜例１＞

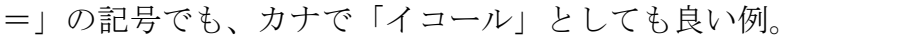
原本通り「＝」の記号で書いても良い例。この場合「②⑤」「②⑤」の前後は１マスあける。

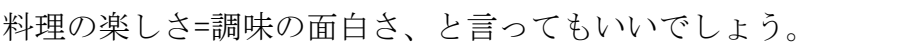
・ガリレオ・ガリレイ＝ガリレイが姓で、ガリレオが名である。

＜例２＞

「＝」の記号でも、カナで「イコール」としても良い例。

・料理の楽しさ=調味の面白さ、と言ってもいいでしょう。

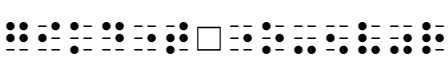




＜例３・４＞

人名や複合語の一部に用いられている場合は、そのまま「＝」記号で点訳しても意味が分かりません。前後の文脈から判断して、適宜、他の記号に置き換えたり、省略してマスあけにしたりします。

・レオナルド・ダ=ヴィンチ



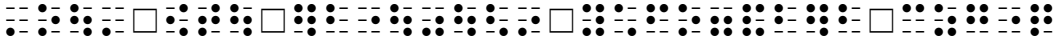
・社会=文化的

（主に、訳本に多く見られる）　

＜例５＞

補足説明のカッコの中に「＝」がある場合、「＝」は省略します。

・私は今年成人式を迎えた（＝平成生まれである）。



２．スラッシュ（／）

墨字では、文字と文字、語句と語句の区切りを明確にするためにスラッシュ「／」を用いることがあります。しかし、点字では分数やアルファベットの単語中を除いて、「／」のまま点訳できないことがほとんどです。点訳パターンとして、下記のような方法が考えられます。

（１）中点（・）に置き換える

（２）マスあけにする

（３）他の記号に置き換える

といった方法が考えられ、どの方法が良いかは、文脈に応じて判断します。

＜例＞

・ON/OFF

⠼ON ⠼⠐⠂□⠼OFF ⠼

⠼ON ⠼□⠼OFF ⠼

・行く/行かない

⠶⠶⠐⠂□⠶⠐⠶⠶

⠶⠶□⠶⠐⠶⠶

・日時/２０１８年６月３０日１０時から

⠶⠶⠐⠂⠶□□⠼⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠐□⠼⠶⠶⠐⠂⠶⠶□⠼⠶⠶⠶⠶⠶⠶□⠼⠶⠶⠶⠶⠐⠂⠶⠶

⠶⠶⠐⠂⠶⠶⠶□⠼⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠐□⠼⠶⠶⠐⠂⠶⠶□⠼⠶⠶⠶⠶⠶⠶□⠼⠶⠶⠶⠶⠐⠂⠶⠶

⠶⠶⠐⠂⠶□⠶⠶□⠼⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠐□⠼⠶⠶⠐⠂⠶⠶□⠼⠶⠶⠶⠶⠶⠶□⠼⠶⠶⠶⠶⠐⠂⠶⠶

・セミナーの対象年齢は、２３/３０歳です。

⠶⠶⠐⠂⠶□⠶⠶⠶⠶⠶□⠶⠶⠶⠶⠐⠂□⠼⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠶⠐⠂⠶⠶⠶⠶

・Ａ・Ｂ・Ｃ/Ｄ

（中点を読点に、スラッシュを中点に置き換えている例）

⠐⠂⠶⠐⠂□⠐⠂⠶⠐⠂□⠐⠂⠶⠐⠂□⠐⠂⠶

（Ｃの内容をＤが補足している場合）

⠐⠂⠶⠐⠂□⠐⠂⠶⠐⠂□⠐⠂⠶⠶⠶⠐⠂⠶⠶

（©わんぱぐ）

新任職員のご紹介

この４月より、点字製作係に、新しく大川靖子職員が入りました。改めてご挨拶申し上げます。

皆さん、こんにちは。３か月が経ちました。自分の無学を思い知らされ、情けないことばかりですが、知識を養うことができ、毎日とても新鮮です。先日、“はたらいて笑おう”というキャッチコピーを見かけました。目に入った瞬間、深く考えずに「これって今の私！」と思いました。気持ち良くお仕事をさせていただけるのは、とても幸せなことだと感謝しております。今のこのフレッシュで前向きな気持ちを持続させ、精一杯やりたいと思っています。末永くよろしくお願いいたします。

（点字製作係　大川靖子（おおかわやすこ））

第３１回専門点訳講習会
教科書・教材実践コースのお知らせ

昨年度に開催した「教科書・教材点訳コース」では多くのボランティアにご参加いただきました。教科書を含む教材支援の需要と、関心の高さが明らかになりましたので、昨年度に引き続き、教科書・教材点訳に関する知識や技術を学ぶ講習会を実施します。

本講習会では、すでに教科書・教材点訳を手掛けておられる方を対象に、実務的な内容に踏み込んで、勉強会スタイルで進めます。受講される方には、日ごろの教科書点訳活動での事例の提供をお願いいたします。

日　程：ご希望教科を選択していただけます（全回受講も可）
［理科］１０月３日（水）１０時～１５時　※初日は、開講式も行います
［社会］１０月４日（木）１０時～１５時
［その他（音楽、美術など）の科目］１０月５日（金）１３時～１５時
［国語］１０月９日（火）１０時～１２時
［英語］１０月９日（火）１３時３０分～１５時３０分
［算数・数学］１０月１０日（水）１３時３０分～１５時３０分

講　師：当館職員、教科書点訳ボランティア

対　象：現在、教科書・教材点訳をされている方

定　員：各教科１５人

受講料：１，０００円

会　場：日本ライトハウス情報文化センター　４階会議室

※お申込み・お問い合わせは、当館点字製作係まで。